

白門ライオンズ会報

Quarterly of Lions 2020.1-6 No.20

東京白門ライオンズクラブ <http://hakumon-lions.org/>



中央大学

東京 白門ライオンズクラブ

TOKYO HAKUMON LIONS CLUB

ご挨拶

新会長就任にあたって

会長 横井 弘明



この度白門ライオンズクラブ第17期会長を拝命致しました。就任に当たって一言ご挨拶申し上げます。

ご承知のとおり、本年初頭以来コロナウイルスが猛威を振るい、5月末に緊急事態宣言が解除されたものの、その後も多数の感染者の報告がなされるなど予断を許さない状況にあります。当会の例会、予定された行事も多数中止になるなど大きな影響を受けました。

このようななか、伊東会長のもと新年度の運営をどのようにすべきかについて理事会において鋭意検討してまいりましたが、コロナ感染禍の終息時期が不透明なことや、わが国全体を覆う社会的、経済的窮状を踏まえれば、従前同様の例会・委員会の開催が難しいと判断するに至りました。その結果、従前、例会夜2回（東武ホテル）、委員会昼1回（シーボニア）実施していたものを、新年度からは例会を夜1回、昼1回とし、委員会を廃止することといたしました。開催場所については、夜の例会は従前どおり東武ホテルを予定しておりますが、昼の例会については現在なお検討中です。

例会回数の減少に伴い、会費の減額も前向きに検討しておりますが、支出面その他を総合的に考慮する必要がありますので、具体的減額等についてはなお理事会で検討のうえ、結果を近日中にお知らせいたします。

当会のクラブスローガンは「白門の絆を奉仕で結ぶ母校愛」ということにあります。この精神のもと、当会は、従前優秀学生の表彰、学術奨励賞の授与、運動部に対する支援など、母校及び母校の学生に対して様々な支援活動を続けてまいりましたが、新年度もこの良き伝統を受け継ぎ、充実した支援活動を実施し

ていく所存です。

現在、母校においてコロナによって学業の継続が危機に陥っている学生に対する支援問題が喫緊の課題として取り上げられておりますが、当会もこの問題に積極的に協力していきたいと考えております。

前会長伊東ライオンのご尽力により、会員の皆様のなかには会運営についていろいろなお意見があることをうかがい知ることができました。様々なご意見に謙虚に耳を傾けながら、充実した会運営に鋭意努力して参りますので、宜しくご協力の程をお願い申し上げます。

2020年度クラブ運営改正の要点

- 1 年会費 正会員 140,000円 (旧200,000円)
特別会員 50,000円 (旧 60,000円)
- 2 例会会場変更 第一例会 (第一水曜日) 午後5時15分
理事会 午後6時例会
会場 コートヤードマリOTT銀座東武ホテル
第二例会 (第三水曜日) 午前11時30分～午後1時30分
会場 シーボニアメンスクラブ
※委員会 (拡大理事会) は第三水曜日に開催していましたが廃止
- 3 例年開催の納涼例会はコロナ禍のため今年は中止します。
8月は特例で8月19日 (水) に例会を開催します。
理事会 午後5時30分 例会 午後6時
会場 コートヤードマリOTT銀座東武ホテル

以上、コロナパンデミック禍世情騒乱の中、横井新会長方針に則り理事会決議しました。

コラム

忘れる技術

弁護士 横井 弘明

命長ければ恥多し。これまでの人生、あんなことしなければ、言わさなければと思うことは数知れない。頭の中をゴシゴシ洗って忘れ去りたいと思うことがふとしたことで蘇り、夢にうなされたりする。われわれは年を重ねるといかに忘れないかを気にするようになるが、いかに忘れるかということも大事だと思う。

赤穂浪士は殿の乱心を忘れさせれば切腹させられることもなかった。大臣の不祥事で国会に呼ばれる政府高官も、隠微い工作の記憶を消去できれば、さぞや心安らかだろうなど妙な同情を覚えたりする。

英国の文芸批評家、ロバート・リンダの「忘れる技術」というコラムは、つらい過去の出来事を忘れる方法を論じている。

意中の男性に振られた女性には、映画を見に行く、甘い声の男

性歌手に恋する、自分より不幸な人の境遇を思い出すなどの方法が紹介されている。もっとも最後の点についてはリンダ氏も懐疑的で、歯が痛いときに、カナダの寒冷地で誰かが霜焼けに悩んでいることを思い出しても慰めにならないなどと指摘している。

自分の受けた害にいつまでも拘っている人に対しては、ラジオでダンス音楽をかけ、できるだけ大声で歌わせるとよい、ヒトラーをはじめ全ヨーロッパが大声で歌うことに参加したら平和の可能性を見出すだろうなどと述べているが、周知のとおりその期待は裏切られた。

残念ながら、万人に有効な忘れる技術はいまだ発見されていないように思う。

(晴海協和法律事務所の寒中見舞挨拶状より転載)

ご挨拶

東京白門ライオンズクラブ 年度を振り返って

前会長 伊東 敏



クラブ会員の皆様、あつという間の1年間でした。

昨年7月に不安と戸惑いの中でクラブ運営の執行責任者の役を引き受けました。このクラブの運営の透明性とガバナンス体制を抜本的に変えなければならないとの思いを抱いていましたので、冒頭からクラブ運営に関する検討委員会を立ち上げ、様々な改革案を提案致しました。その目玉は、以下の二つのことでした。

①アクティビティ専用口座を設定し、年会費の15%相当(¥30,000/人)並びに例会でのドネーションを当該口座に振り込み、中央大学他への支援資金として別管理すること。その狙いは、会員からのドネーションは、アクティビティ以外には使用しないという明確な規律であり、また、財務上の観点からアクティビティの継続的な活動資金を確保するために、会費の15%を当該専用口座にプールすることでした。

幸い、この改革案は会員賛同の下、昨年7月に遡って実施し、本年度の中央大学への支援もこの口座から拠出しております。

②例会費の負担軽減のため、昼例会の導入を検討すること。この点については、アンケート調査の結果、賛否がほぼ拮抗するなか、トライアルで昼例会を実施し、様子を見た上で検討するとのコンセンサスの下、継続検討課題とすることとなりました。

しかしながら、次期執行部は、コロナ禍が会員に及ぼす直接・間接の影響に鑑み、早ければ7月第二例会から昼例会の導入に踏み切る予定と伺っています。結果論かもしれませんが、検討委員会での提案事項の目玉の二つ目が次期早々導入の見込みとなり、何よりのことと感じております。

今年度は、例会の活性化のためにゲストスピーカーとメンバーズスピーチの充実を目指し、以下のような講演(高座)を拝聴する機会を得ました。改めまして、関係各位のご協力に感謝申し上げます。

- 「ライオンズクラブの基礎知識について」(鈴木L、榎L、星野L)
- 「骨髄バンクの概要と移植経験者のお話」(大久保L、池谷有紗氏)
- 「美術品オークションの極意」(増淵L)
- 「国家の存立と安全保障-日本の取るべき道-」(上田愛生氏)
- 「高座「片棒」」(林家つる子氏<中大出身落語家>)
- 「やさしい仏像のみかた」(濱田嘉一氏<中大OB>)
- 「原発システムをデザインする」(横山禎徳氏)
- 「負の遺産『アスベスト』今何が起きているか」(木村実牙男L)
- 「司法取引と我が国法曹界の課題」(横井L)

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大で3～5月の3か月間にわたり例会が開催できず年度の終末を迎えることとなりましたことは、かえすがえす残念至極と申しますか、不完全燃焼の感を否めません。

もう何人かのゲストスピーカーの話を心待ちにしていたのに、昼例会のテストができたかもしれないといった思いがよぎりますが、全て今後のクラブ運営につながる事ばかりですので、今後の楽しみに取っておきたいと思えます。

石村幹事長とは実にいいコンビでした。二人三脚が成立するように、二人の間で100%透明性を保持し、少々大袈裟ですが困難辛苦の処理事項は何でも相談しながらやってきました。二人とも実に爽やかな気持ちで任期を終えることが出来、皆様に感謝の意を表したいと思います。

クラブ運営は、事務局なくして成り立ちません。右江さんには一方ならぬお世話を頂きました。ある時は生き字引の如くライオンズクラブの知らないことを教えていただき、毎月の理事会、例会次第を淡々とそつなく準備・励行し、簿記の知識をもとに帳簿管理を適切に行い、まさに、頼りがいのある右江事務局長の存在でした。改めて感謝申し上げます。

最後に、横井L、増淵Lの船出にエールを送りたいと思えます。



前会長・伊東Lから現会長・横井Lへ認証状の引き継ぎ

2020年1月8日(水) 第一例会報告 於 銀座東武ホテル (B1)

2020年1月8日(水)、1月度第一例会が銀座東武ホテルB1ロジェドールにて開催されました。第二副会長の河野Lの「人、すなわち 神なり 仏なり」という今、例会にあった挨拶で開会のゴングが鳴りました。

会長挨拶では横井Lの名言である「Ghosn were gone」のカルロス・ゴーン容疑者がこれからどうなるかの話から、オリンピックという言葉だけでは差別になり、正式には「オリンピック・パラリンピック」(オリパラ)と言わなければいけないという話を聞きました。また、中東から第三次世界大戦になるのではなども話されました。

再入会員として市川昇Lが復帰されました。市川Lは鈴鹿市の市議会議員で、榎Lが、市川Lの仲人をされております。長距離会員としてのご活躍を期待しております。

お誕生会は田尻Lと徳永Lでした。おめでとうございます。

今回のゲストスピーチはL増淵紹介の濱田嘉一さんで、東京大空

襲を体験後、中央大学商学部のご出身で、JETROに勤務され、(財)中小企業指導センターに転職された方です。高校の頃から仏像に興味を持って勉強されている方で、様々な仏像の種類や手の形の意味などをお話されました。とても勉強になりました。

ウィ・サーブは、絞りの着物の素敵なお中西Lがされました。大学・学会情報では、終身理事長・元会長鈴木Lの下、箱根駅伝の結果について話されました。また、大越Lが箱根駅伝の写真をいっぱい撮られたので、次回の例会にもってきてくれるそうです。来年度の駅伝部に5名の有力選手が入るとのニュースに皆がわきました。

また、大久保Lは赤十字の献血活動を増上寺でされていたそうです。閉会のゴングでは水津Lが、旧年を断ち切り新年が新たに始まるという話で閉会しました。

今回の例会も楽しく終えることが出来ました。【L増淵 秀一・記】



2020年1月22日(水) 五大学ライオンズクラブ合同新年会 於 帝国ホテル「光の間」

2020年1月22日(水)、帝国ホテル「光の間」にて五大学ライオンズクラブ合同新年会が行われました。

当日は学会会の新年会と同日だったため、わが白門ライオンズ参加メンバーは少なかったですが、五大学の中では参加人数は多かったです。

いつもの通り第1部では挨拶で終わりました。第2部では銀座LCの奈月レイLによる歌のアトラクションがあり、皆で歌を歌い盛り

上がりました。

五大学の校歌斉唱・応援では元応援団長の櫻井Lのもと、一番盛り上がりました。稲門ライオンズクラブが伊賀ガバナーのもと立ち上がるとの報告があり、今後六大学クラブになることになりました。

いつもの例会とは違い、他クラブとの楽しい例会を過ごすことが出来ました。【L増淵 秀一・記】



2020年1月2日(木)～3日(金) 第96回箱根駅伝応援

中央大学箱根駅伝の1区と10区の応援については、毎年学会川崎支部の重要な催しとして行われています。

今年も往路の応援は第一京浜国道の川崎郵便局前、復路の応援は同じく反対側の稲毛神社前にて行われました。特に復路は最終走者がデッドヒートする場所なので、否が応でもとても盛り上がるロケーションです。

通過タイムの約1時間前に集合して、ノボリを組み立てたり応援旗を配ったりバタバタと準備します。そうこうしているうちに沿道は徐々に人だかりが出来て、盛り上がっていきます。そしてクライマックスの通過タイムには大声援の渦! もちろん母校中大の応援はこの日最高潮の盛り上がりでしたが、他校への応援もちゃんとすることがさすが中大流です。

この時、川崎での通過順位は14位でしたが、最終的には大手町のゴールでは12位と健闘しました。惜しくもシード権を逃しましたが、噂によりますと今年度有望な新人が数人入学したとのこと。来年の箱根駅伝は期待してもよろしいのではないのでしょうか。

とにかく来年の箱根駅伝は、コロナが終息して安心して開催出来ることを祈念いたします。【L茂岡 幹弥・記】



写真は5区・6区を応援した風景です

福原学長を囲んで反省会

2020年2月5日(水) 第一例会報告 於銀座東武ホテル(芙蓉)

2月5日(水)、銀座東武ホテル芙蓉の間にて第一例会が行われました。

開会のゴングは星野L。湯沢のスキー場の雪が少ないことと、中国のコロナウイルスの話で幕は明けました。伊東会長の挨拶では今回のスピーカーの横山氏の紹介がありました。

伊東会長は横山氏の会社で会計をされていたそうです。年齢は伊東会長と同じ古希だそうです。

4月25日に年次大会が開催されるとのこと。委嘱状授与では年次大会、映像・記録部会員として、茂岡Lが委嘱状を受けました。横山氏のスピーチ内容は原子力発電所は負の遺産なのかどうか。横山氏は2歳の時に広島から約2.5キロ離れた自宅で被爆されたそうです。また、技術を知らないで原発反対賛成を議論することはできないこと。原子力をやりたい学生がいなくて、原子力工学科が東大からなくなったこと。

今は第4世代の原発であり、中国は第5世代を研究しており、技術があるので、今後中国から原子力発電所を買うことになるだろうということ。電力の需要のほとんどが家庭であること。AIは電気を食うので、スーパーコンピューター1台に対して原子力発電所1つ分の電力が必要とのこと。熱が出るのは電力の無駄遣いであり、熱をあまり出さずに電力消費を少なくする課題があること。人々が技術的に無知であり、サイエンスを理解してほしいこと。スモールコンシウムリアクターやトリウム研究。事故調査委員を増

やすこと。

福島原発は1971年型であり、アメリカのスペックのままということ。一方の島根原発は2011年型であること。日本には50個の原発があり、資源エネルギー庁は事故責任の所在がない。ウクライナの高官が今回の事故について、議論の場がない社会システムを怒っていたそうです。原子力産業協会いわく、廃炉(デコミッション)退役は30~40年かかり、原子力を学ぶ人がいないので、専門能力が無く、定期点検に2000人必要であり、5000億円の費用が掛かること。このことに電力会社が騒がないのは包括原価方式を取り入れているためであること。先端産業で儲かるには30年かかるが、システムは3年でできること。医療の問題は慢性病(生活習慣病)、社会の価値観であること。原発システムや社会の価値観など因果関係がわからないものがたくさんあり、どれを信じたら良いかわからない。

特に低線量被曝は30年後じゃないとわからないし、木の葉は除染できない。原発を賛成すると袋叩きにあう。まさに、安全の敵は安全であるという内容でした。

大学・学会情報では、終身理事長・元会長の鈴木Lより、司法試験、公認会計士試験の合格者数の話がありました。

今回の例会もゲストスピーカーの話が面白く、為になるもので良かったです。

【L増淵秀一・記】



2020年2月19日(水) 第二例会報告 於銀座東武ホテル(芙蓉)

2020年2月19日(水)、銀座東武ホテル芙蓉の間にて第二例会が行われました。

今回は特にコロナウイルスの影響もあり、例会実施が危ぶまれましたが、無事に開催することができました。今後のコロナウイルスの状態によっては一時休会になるかもしれないとのこと。新しく早稲田大学のライオンズが出来、我が会に稲門ライオンズのメンバーである石橋琢磨Lが来会しました。

100周年記念期間中、会員増強アワードで水津正臣Lが表彰を受けました。今後も増強でクラブが盛り上がると思います。

今回のメンバースピーチは木村実牙男Lによる「負の遺産『アスベスト』今何が起きているのか」という内容の話でした。アスベストは1ミリの5万分の1の大きさで、大変小さいのだそうです。日本のアスベストは1000万トンあり、そのうちの90%が輸入されたものだそうです。

アスベストの人体における影響は30年から40年かからないとわからないそうで、ずいぶん長いものだと思いました。クボタショックはイタリアのエタニットパイプから水道管を製作するのに使われ

たアスベストであり、当時の作業員はマスクなしで作業をしていたそうです。関連性がわからないと怖いものですね。石綿利用しているものの発癌性物質があるとわかったのが1972年だそうです。

アスベストを使用した公営住宅にはまだ23万人が住んでいるそうで、曝露した場合、所有者にその責任が問われるそうです。RC建物のほとんどにアスベストが使用されているので、今後の解体等で問題になるそうです。解体のピークは2018年で、2060年にはアスベストがなくなるようです。

建築物石綿含有建材調査者は全国に1275名と少なく足りない状態で、今後の国の対応を待つしかなく、無知や経費削減などから、違法にアスベスト処理をする業者が多いので、今後の対策として、規制を強化し、届出の義務化、事前調査、罰則強化が必要であるのだそうです。大気汚染防止法も強化が必要だと認識しました。

大学・学会情報では横井弘明Lのロバート・リンドの「忘れる技術」の話。忘れることの大切さを改めて知りました。ドネーションも多く、今回の例会が無事開催でき、盛会に終わったことに感謝。

【L増淵 秀一・記】



2020年6月3日(水) 第一例会報告 於銀座東武ホテル(桜)

6月3日(水)、銀座東武ホテル桜の間にて6月第一例会が開かれました。緊急事態宣言は解除されましたが、依然 COVID-19 が猛威を振るう東京アラートのなか、銀座東武ホテルのご協力の下に例会が開催されたことは幸いでした。

ホテルの中一番大きな会場である桜の間に、間隔を大きく開けて、1テーブル4人で20名ものメンバーが集まりました。理事会も大きく間隔を開けて開催されたので、声が聞こえづらい為、マイクをもった開催でした。

銀座ライオンズクラブがお休みなので、山崎Lも出席していただきました。お誕生日はかつてない大人数で行われ、素晴らしかったです。田口義雄Lは入会以来初めて誕生会でお祝いされたそうで、境捷彦Lは毎回お祝いされているそうです。



お楽しみ講話は、中山終身名誉会長が長距離移動はあまりよろしくないのでは、残念ながらもありませんでした。

大学・学会情報では、終身理事長・元会長の鈴木誠Lより公認会計士の合格者数の話で、以前は明治大学と同じ合格者だったのに今年度は抜かれて4位になってしまった話でした。残念です。

ファイン・ドネーションの発表では、今期始まって以来、初出席のテールツイスターである、竹内敬雄Lが会場を盛り上げました。例会の終わりにはサプライズで、岡田孝子Lより花束の贈呈がありました。

今例会は3月からお休みだったので、大いに盛り上がりました。残る例会もあとわずか1回となりますが、また、楽しく開催できることを祈ります。 【L増淵 秀一・記】



2020年6月17日(水) 第二例会報告 於銀座東武ホテル(龍田)

6月17日(水)、銀座東武ホテル龍田の間にて6月第二例会が行われました。緊急事態宣言解除後の2回目の例会です。

伊東会長からのご挨拶。コロナのせいで、空白の3カ月があったが、2つの改革が進んだとのこと。1つ目は、アクティビティ資金のプールであり、会費のうち3万円が貯蓄に回っていること。2つ目は、例会費の問題で、夜と昼の例会の実施での削減にての成功。例会においては様々な方々のスピーチや高座ができた事などを話されました。

お誕生日会では、前回の例会に参加出来なかった大越Lが3カ月ぶりにお祝いされました。おめでとうございます。

メンバースピーチでは、来期の会長・横井Lによる司法取引の話。そもそも、日本の取り締まりは厳しいそうで、様々な冤罪事件がその厳しさから出ているようです。密室でかなり強引な取り締まり等が行われているので、日弁連は可視化が必要とのこと。

厚生労働省の村木事件ではなんと、検事が証拠をいじったとのこと。自己負罪型取引を日本は不採用とし、捜査公判協力型司法取引を採用。他人のチクリで自分の罪を軽くする取引。特定の犯罪に適用されているそうです。この取引は利益誘導、冤罪の危険性をはらむので、密告体質は弁護人の同意と立ち合いが必要。

嘘は5年以下の処罰。贈収賄など、国民が納得出来るような事件に適用される。分かりやすい司法取引のお話でした。

コロナ禍でも、最終例会多勢の参加でした。大学・学会情報では、山崎Lの話。中央大学の理事選考委員会はWEB会議をしているとのこと。

宮寺Lが結婚されました。おめでとうございます。最終例会も賑やかに楽しく終わりました。次年度も楽しみです。

【L増淵 秀一・記】

2020年度 年間行事予定表

月	【前期】 (第一・第三水曜日)			【後期】 (第一・第三水曜日)		
	第一例会	第二例会	備考	第一例会	第二例会	備考
7月	1日(水) 理事会 17:15~ 例会 18:00~19:30 銀座東武ホテル(桜の間)	15日(水) 理事会 11:30~12:00 例会 12:00~13:30 シーボニア	新役員紹介	6日(水) 理事会 17:15~ 例会 18:00~19:30 銀座東武ホテル(B1)	26日(火) 六大学新年例会 詳細後日 当番クラブ セントポールLC 池袋メトロポリタンホテル	25日(月) 場所未定 330-A 地区役員賀詞交歓会
8月	19日(水) 理事会 17:15~ 例会 18:00~19:30 銀座東武ホテル(桜の間)	夏休み		3日(水) 理事会 17:15~ 例会 18:00~19:30 銀座東武ホテル(B1)	17日(水) 理事会 11:30~12:00 例会 12:00~13:30 シーボニア	
9月	2日(水) 理事会 17:15~ 例会 18:00~19:30 銀座東武ホテル(桜の間)	16日(水) 理事会 11:30~12:00 例会 12:00~13:30 シーボニア	ガバナー公式訪問は 例会振替せず 3役3名程度出席 ガバナー公式訪問 9/30(水) ホテルイースト21	3日(水) 理事会 17:15~ 例会 18:00~19:30 銀座東武ホテル(芙蓉の間)	17日(水) 理事会 11:30~12:00 例会 12:30~13:30 シーボニア	大学院に学ぶ優秀な留学生、法科研究生に 学術奨励賞授与式 他に大学で授与式が行われる ・次期指名委員会
10月	7日(水) 理事会 17:15~ 例会 18:00~19:30 銀座東武ホテル(B1)	21日(水) 理事会 11:30~12:00 例会 12:00~13:30 シーボニア	五大学親睦旅行例会 当番クラブ駿河台LC	日程未定 お花見例会 (詳細後日)	21日(水) 理事会併催 次期準備委員会開催 (予算及び事業計画案)	17日(土) 第67回年次大会 東京プリンスホテル
11月	4日(水) 理事会 11:30~12:00 例会 12:00~13:30 シーボニア	17日(火) 新宿LCとの合同例会 理事会 17:15~ 例会 18:00~19:30 東武ホテル(桜の間)	第59回osealフォーラム	6日(木) 理事会 17:15~ 例会 18:00~19:30 銀座東武ホテル(芙蓉の間)	19日(水) 理事会 11:30~12:00 例会 12:00~13:30 シーボニア	理事会併催次期準備委 員会開催 (予算及事業計画の承認) 15日(土) 330複合地区 第67回年次大会 浦和ロイヤルパインズホテル
12月	5日(土) 歳忘れ ホームパーティ 11:00~14:30 銀座東武ホテル 大会場(桜の間)	23日(水) 理事会 11:30~12:00 例会 12:00~13:30 シーボニア		2日(水) 理事会 17:15~ 例会 18:00~19:30 銀座東武ホテル(B1)	16日(水) 理事会 11:30~12:00 例会 12:00~13:30 シーボニア	16日(水) 新旧役員交替会併催 25日~29日 第104回国際大会 カナダ・ケベック州 モントリオール

ご報告

中央大学学生奨励賞合同授賞 授賞者からのお礼状

例年春爛漫の日、中央大学で総長・学長以下教授陣、受賞者相集い、当クラブも会長以下3役が盛大な授与式、パーティーに参加してきましたが、今年は残念ながら、個別に大学で授与しました。時期的に当クラブ例会での授与式もできず残念でしたが、当日の写真と令状が届きましたので掲載いたします。

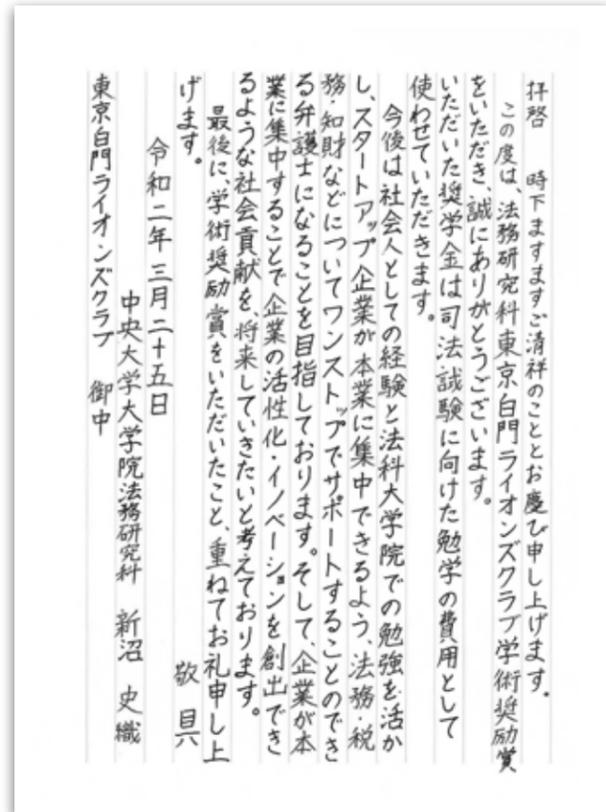
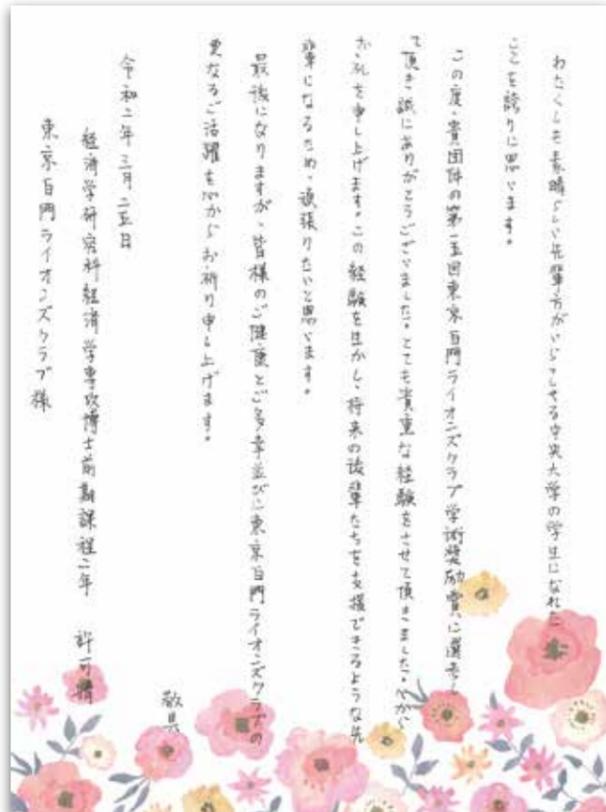
第15回東京白門ライオンズクラブ学術奨励賞授賞
経済学研究科経済学専攻博士前期課程2年

キヨ カセイ
許 可婧さん



第6回東京白門ライオンズクラブ法務研究科学術奨励賞授賞
中央大学大学院法務研究科

ニヌマ シオリ
新沼 史織さん



東京白門ライオンズクラブ 学術奨励賞 受賞者一覧

年度	受賞者	国籍	指導教授
第1回(2005年度)	法学研究科 林 孝眞	韓国	白井 久和先生
第2回(2006年度)	経済学研究科 張 熙	中国	藪田 雅弘先生
第3回(2007年度)	商学研究科 劉 雷	中国	木島 淑孝先生
第4回(2008年度)	理工学研究科 韓 冰	中国	庄司 一郎先生
第5回(2009年度)	文学研究科 鄭 麗穎	中国	譚井 唯允先生
第6回(2010年度)	総合政策研究科 韓 正洲	中国	林 昇一先生
第7回(2011年度)	法学研究科 NGUYEN PHUONG CHAM THI	ベトナム	豊岳 信昭先生
第8回(2012年度)	経済学研究科 朱 洵	中国	石川 利治先生
第9回(2013年度)	商学研究科 陳 才	中国	酒井 正三郎先生
第10回(2014年度)	理工学研究科 関 鍵	中国	田口 東先生
第11回(2015年度)	総合政策研究科 張 曉棟	中国	松野 良一先生
第12回(2016年度)	文学研究科 苗 鳳科	中国	宇佐美 毅先生
第13回(2017年度)	総合政策研究科 李 瑞鵬	中国	松野 良一先生
第14回(2018年度)	法務研究科 MUNKHSAIKHAN NOMIN	モンゴル	秦 公正先生
第15回(2019年度)	経済学研究科 許 可婧	中国	唐 成先生

東京白門ライオンズクラブ 法務研究科学術奨励賞受賞者一覧

年度	受賞者	指導教授
第1回(2014年度)	法務研究科 吉田 知世	高橋 直哉先生
第2回(2015年度)	法務研究科 高階 裕一	藤原 静雄先生
第3回(2016年度)	法務研究科 小松 真理	藤原 静雄先生
第4回(2017年度)	法務研究科 木邑 友希	加藤 新太郎先生
第5回(2018年度)	法務研究科 山本 光治	森信 茂樹先生
第6回(2019年度)	法務研究科 新沼 史織	伊藤 知義先生

＝訂正＝

木島庄一Lより、クォーターリー NO.19 内での原稿にご指摘がありましたのでお詫びして訂正いたします。

2019年10月9日の第1例会で私がスピーチの時間を頂き話した事が記載されていましたが、私の発言と違った解釈で載っていたので訂正させていただきます。

主権は在クラブにあることは、間違いありません。今年度からLCIFの献金が20ドルから100ドルになり、子供会員を除き国際協会に籍を置く全会員の献金を求めてきました。そこで私は、予算を立てていないクラブの高額の献金は、必ずしなくてもいいと申し上げました。上からの協力要請に対しては、各クラブの諸事情により検討して、出来る範囲で協力し、クラブで充分検討して、出来ない時はそれではないかと思うと発言したつもりです。訂正をお願いいたします。

会員の消息

◆ 7月から退会ライオン

井原俊二さん、小堀靖弘さん、宮寺陽子さん、大網義明さん

白門LCバッジデザインなど多くのデザインを担当、田口会長時の幹事長等担当され大活躍していただいた井原俊二さんが業務多忙のため退会、小堀靖弘さんは長く欠席が続きましたがこの度退会、世界をボランティアで駆けまわる宮寺陽子さんのこの度寿退会、今後のご活躍をお祈りします。大洗町から駆けつけて頂いた遠距離会員大網義明さんは健康事情で退会されました。皆様機会がありましたら例会訪問歓迎します。

◆ 新入会員紹介



白土 純
特別会員(スポンサー小平康代L)
昭和35年8月25日生
昭和60年法学部卒
中野区副区長
中野区白門会員

編集後記

表紙はコロナ近況報告の際、中山正暉終身名誉会長からお送り頂いた作品を使わせていただきました。いつもありがとうございます。クォーターリーで年間4回発行していましたが、コロナ禍のため3～5月は例会が開催されず、20号は1～6月編となりました。奇しくも5年で20号発行となりました。

2020年度から横井会長のもと新体制で会報を編集していきたいと思えます。

【L増淵 秀一・記】

Quarterly of Lions 2020.1-6 No.20

発行日 2020年7月31日
 発行人 横井 弘明
 編集/総務・広報委員会 増淵 秀一 境 捷彦 大越 武雄
 発行所 東京白門ライオンズクラブ
 事務局 八王子市南大沢3-14-4-304 TEL/FAX.042-676-4147
 制作協力 株式会社 ノラ・コミュニケーションズ

白門ライオンズ会報 揮毫 中山 正暉L



2020.7 ~ 2021.6

白門ライオンズの誓い
我々は、会員相互の友情
の絆を基に、同窓・学員の
信頼を深め、知性の根源
である中央大学の発展に
寄与することを誓う。
東京白門ライオンズ

クラブスローガン

白門の絆を奉仕で結ぶ母校愛

東京白門ライオンズクラブ

白門ライオンズクラブ 🔍

<http://hakumon-lions.org>